

精密加工のスペシャリストとして、 1 μ m以下の精度に対応

村上精機株式会社

 大阪
21

<http://www.murakamiseiki.co.jp/>

 0.2 μ mまで測定可能なスイス製測定器

Company Profile

村上精機株式会社

 住所 / 〒590-0983
堺市堺区山本町5-97-3

創業 / 昭和23年4月

設立 / 昭和34年11月

資本金 / 2,200万円

従業員 / 37名

TEL / 072-232-5693

072-238-1649

FAX / 072-233-3168

■主な事業内容

 精密機器部品・半導体製造
装置部品・精密測定器部品・
精密金型の製造

■主な取引先

 自動車製造メーカー、測定器
製造メーカー、半導体製造装
置メーカー、工作機械メー
カー等


当社のセールスポイント

 コスト・納期の提案から
精密加工・組立まで、
すべて弊社にお任せください。

代表取締役

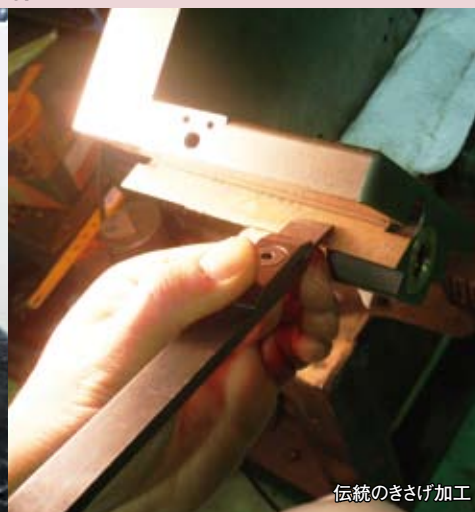
村上 周三さん



弊社では切削・放電加工から研削・ラップ加工まで手がけ、さらに組立まで一貫して行います。また、高精度な検査機器や熟練の技術を駆使し、充実した品質保証体制を整えております。ご要望により、品質を守りながらコスト・納期にあわせたモノづくりの提案も行います。精密加工に関しては、ぜひ弊社にお任せください。



最新の切削加工技術



伝統のきさげ加工

精密測定器部品の分野で 培ってきた高度な技術

村上精機の事業内容には、「精密測定器部品の製造」と記されている。実はこれこそが、同社の優れた加工技術を物語っている。

例えば、半導体製造装置部品などの加工で求められるのは3 μ mまでの精度。しかし、精密測定器部品の加工には1 μ mを切るナノレベルの精度が必要とされる。

「精密測定器部品の加工技術があるからこそ、各メーカーの方々からの難題にも応えることができる」と村上社長は語る。

実際、ある大手自動車メーカーが新製品のエンジン用金型を製作できる企業がなくて困っているという相談を受けた際、金型製作の経験がなかったにもかかわらず、精密測定器部品の高精度加工技術を応用することで難題に伝えてみせた。その大手自動車メーカーからは絶大な信頼が寄せられ、現在も取引が

続いているという。

最新設備を整えるとともに、 伝統のきさげ加工技術を 継承

同社の特長はマシニングセンター等の最新設備とともに、きさげ加工技術を持ち併せていること。

きさげ加工とは、機械仕上げされた部品の表面を、人の手によつて精密に仕上げていく伝統の技。平面度1 μ m以下が求められる精密測定器部品を作るうえで、きさげ加工は欠かすことができない。

ただ、この技術をもつ作業者は高齢で退職している場合が多く、今ではきさげ加工を行っている企業は数少ない。そこで同社では、熟練社員から若手社員へ匠の技を伝承。さらに「自社の技術を提供することで、業界全体のレベルが上がるが嬉しいこと」という村上社長の考えから、同業者に対してもきさげ加工の研修を行っている。

「月曜全体会議」を通じて、 知識と技術を発展

同社がめざすのは、一人ひとりがスペシャリストとして活躍する技術者集団。そこで約10年前から各社員が当番制で研究発表等を行う「月曜全体会議」を実施。全員で情報・意見を交換しあうことで、知識や技術の発展に成果を挙げ、「大阪経済・労働白書」でも紹介された。現在はこの会議からの発案で、自社ブランドの加工機械の開発・製造をめざしている。

「仕事はチャレンジ」が、同社のモットー。卓

越した技術と旺盛な探求心、そして豊かな経験で、これから同社はユーザーの方々からの難題に答え続けていく。


 約10年前から
月曜全体会議を実施